

## 第2回北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会

日時：平成21年6月11日（木）13：00～14：20

場所：名古屋国際会議場 3号館3階 国際会議室

### 1. 開会

### 2. 挨拶

#### （榊国土交通審議官）

- ・ 国土交通大臣は、法案審議が詰まっていることもあり、やむなく欠席。挨拶を代読したい。
- ・ 「金子国土交通大臣 挨拶」代読。
- ・ 世界的な経済危機を契機として、一体何が起きているかといった事を想定すると、この広域地方計画で、まず東アジアの活力を取り込むのだということが、冒頭にあったかと思う。このような経済情勢になればなるほど、その視点は正しかったのではないかと思っている。
- ・ 日本の経済は、消費が7割を占めており、決して外需に頼っている訳ではないが、企業がグローバル化し、諸外国における経済不況の影響を受けてしまう事から、中部圏も相当の影響を被っているのではないかと思う。
- ・ 経済危機は最長でも32ヶ月と言われており、それを考え、単純に計算すると昨今の経済不況も来年6月には回復している見込み。さらに、日本もアメリカもヨーロッパも、色々な経済対策、財政政策を講じているため、来年の今頃から、来年の終わりの頃には経済は持ち直しているのではないか。そのような事態を受けても、広域地方計画なり、社会資本の重点整備方針をきちんと仕上げ、実現化していくことが大切だと考えており、今日は是非その第一歩となればと思っている。

#### （北陸経済連合会：新木会長）

- ・ 北陸圏・中部圏の両圏域は、それぞれの協議会で広域地方計画を検討するとともに、両圏域の共通課題や、日本企業のマーケットの重点が東アジアに移行し、将来そのウエイトが高くなっていくという時代における日本海側と太平洋側の連携した取組等を検討するため、合同協議会を設置し、議論を進めてきた。
- ・ 本日は、最後の仕上げの段階を迎えている。これまでの議論の成果である、計画原案について、北陸・中部両圏が自立的に発展していくための戦略や、より具体的な未来を展望した計画づくりといった視点に立ち、忌憚のないご議論をいただき、両圏域の広域地方計画が実りのあるものになればと思う。
- ・ 広域地方計画の推進によって、多様な特色を持つ両圏域が交流、連携し、相乗効果によって、活力のある地域の形成を目指すとともに、両圏域それぞれの個性や特性を反

映した、独自性のある地域づくりが進むことを祈念する。

(愛知県：神田知事)

- ・ 昨年10月の第1回の会合以来、幹事会、WGで、様々な議論を積み上げてきた。
- ・ 今夏に大臣決定というスケジュールと聞いており、今後、パブリックコメント等も行われる、いわば大詰めの大変重要な時期での会議であり、実り多いものにしたいと思っているので、皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

### 3. 議事

#### 1) 北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会報告書原案について

- ①北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会報告書原案
- ②北陸圏・中部圏広域地方計画に係る市町村からの計画提案

(北陸圏事務局：大竹室長)

- ・ 資料1、資料2 説明

(意見特になし)

(愛知県：神田知事)

- ・ 北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会報告書の最終案の作成に向け、これから検討を進めていくため、よろしくお願いしたい。事務局もそのような方向で、準備、作業を進めていただきたい。

以上